



No. (2025年12月1日)

編集・発行

愛媛県介護支援専門員協会

くるにゃん通信



9月14日に四国ブロック研究大会が開催され
愛媛県代表パネリストとして登壇してくださいました

丹下千都さん（居宅介護支援事業所 和光苑）にお話を伺いました！



■パネリスト紹介

名前：丹下千都

所属：居宅介護支援事業所和光苑

担当地域：事業所は包括石井・浮穴・久谷
エリアに有りますが、担当地域は松山市・
伊予市・松前町・東温市と広く、ご希望を
頂きましたら、遠くてもお問い合わせて頂け
ます。

ケアマネ歴：12年

■テーマの経緯

少子高齢化や世帯構成の変化など
により、中高年世代（概ね40～64歳）を中心とした家族介護者に加え、
近年では65歳以上の担い手も増え、
家族介護者全体の高齢化が進んでいます。介護保険創設当初、介護支援
専門員は主に利用者本人を支援する
専門職として位置づけられ、家族は

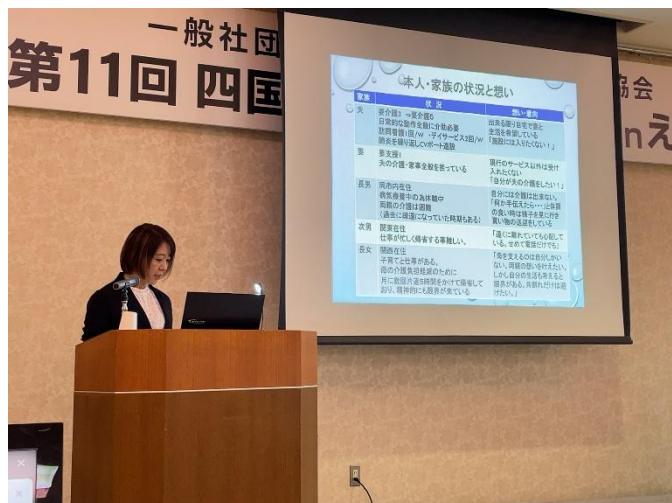
「家族介護者」として捉えられていました。しかし、現在では、家族も
一人の生活者として捉え、必要であれば適切な専門機関につなぐなど家
族支援が求められています。家族に
とって頼れる存在となることを目指し、「家族支援」がテーマとなりま
した。

■登壇した感想

「家族支援の事例出してみない？」とお話を頂き、主旨を理解しないまま「はい」とお返事させて頂きましたが、後に届いた発表要綱を拝見し、「四国ブロック研究大会・愛媛県代表」の文字が衝撃的で、全身身震いしたのを鮮明に覚えています。「こんな大舞台とは聞いていない。私に務まるのか？」不安でしかありませんでしたが「与えて頂いた、二度ではないであろう貴重な機会、精一杯頑張ろう！」と資料作りを始めました。

ZOOM リハーサルの時に他県の方の高尚かつ素晴らしい発表内容を聞き、自分の未熟さ稚拙さに涙が止まりませんでした。発表当日もがちがちに緊張している私に対して「頑張って！」と運営スタッフの皆様が温かく声をかけて下さり、とても大きな力になりました。

また大会運営の為に一所懸命に動き回っている協会員の皆様の姿を見て、自分もしっかり役割を果たさねば！と気持ちを奮い立たせる事が出来ました。



資料の作成段階から何度も何度もご指導下さった矢川会長、温かくお声掛け下さった岸副会長、小泉副会長、山口事務局長、協会員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

そして応援のために研修を現地参加にして駆けつけてくれた同事業所の先輩方、癒しを頂きました！ありがとうございました。



ご登壇、本当におつかれさまでしたにゅ！皆さんの想いがたくさん詰まった時間だったにゅ♪

■発表テーマと工夫点

自分の発表テーマは「自分の時間を捧げても夫を自宅で介護したい！」でした。支援を拒んでいた妻の気持ちに寄り添いながら、信頼関係を築いていった過程を中心に発表しました。特に妻の不安の背景を丁寧に受け止め、チーム全体で支援を積み重ねた事を具体的に伝えられるように工夫しました。日常の関りや言葉の一つ一つに焦点を当てた実践報告としました。

家族の不安に耳を傾ける姿勢…ボクも心があつたまったくにゅ。素敵な実践、もっと聞きたいにゅ。



■印象に残ったこと

他県の発表ではナラティブアプローチや LEARN モデル等論理的視点を取り入れた実践で大きな刺激を受けました。また、基調講演では「協働的パートナーシップアプローチ」や「カルガリーカンファレンスアセスメントモデル」等、看護学の視点から家族を支援する考え方を学びました。「家族を支援の対象として捉える」こと、そして「家族とともに考え、支える」という協働的な姿勢の大切さを改めて感じました。

■他県との交流エピソード

他県のケアマネジャーの方々と日々の業務や支援への思いを共有する事が出来ました。「悩みながらも前に進む姿勢は同じ」と励まされました。その他業務外の会話では自身の健康法についての話題で盛り上がり、とてもリラックスできる空間でした。

■プライベートな一面

プライベートでは大好きな動物に囲まれてリフレッシュしています。ペットの数が増えすぎて、朝・晩 1 時間以上のお世話が必要で外泊も難しい状況ですが、日々充実しています。ペット中心すぎて、高校受験を控えた娘のお世話を忘れる事があるのは内緒にして欲しいです。

■メッセージ

日々の支援の中で、迷いや葛藤は尽きませんが、歩んだ時間は必ず自分の力になる！と感じています。今回の研修を通して本当に多くの学びを得る事が出来ました。このような貴重な機会を作って下さった介護支援専門員協会の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。今後も一協会員として研修に参加し成長していきたいと思います。この度は本当に貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

学び続ける姿勢、とてもかっこいいにゃ。今後もみんなで成長していくからうれしいにゃ。



■協会からのお知らせ

参加者 165 名(会場 92 名オンライン 73 名) と非常に多くの方にご参加いただきました！

アンケート結果を HP に掲載していますので、ご確認ください。



[jcma_q_250914.pdf](#)

8月2日(土)・3日(日) 「ファシリテーター養成研修」を開催しました！

講師：NPO 法人介護の会まつなみ 理事長 峯尾武巳 氏



事業所内や地域での会議、事例検討会で促進者と言われるファシリテーターの役割を学びました！「適切なケアマネジメント手法」の知識の確認やグループワークでのファシリテーター実践の演習を行いました！「一人一人が積極的、意欲的に参加し、自由に意見や考えを共有でき、失敗しても学びに変えていける」という雰囲気がありました。」との感想をいただいています。

アンケート結果はこちら

https://ehime-cma.com/report/questionnaire/q_250802.pdf

8月23日(土)ステップアップ研修 「糖尿病について聞いてみよう」を開催しました！

講師：済生会西条病院 内科医師 金子由梨 先生

日本人の7大成人病にあげられる糖尿病。どんな病気でどんな症状があるの？治療方法は？など様々な疑問を、糖尿病専門の先生から正しい知識を学びました！「情報共有がいかに大切かということがわかりました。今後はできるだけかかりつけ医及び看護師へ、利用者の家庭での様子など病院側がわかりづらい情報を連携していきたいと思いました。」との感想をいただきました。

アンケート結果はこちら

https://ehime-cma.com/report/questionnaire/q_250823.pdf



広報涉外委員会企画 ケアマネ交流会 in 今治／南予 開催

地域のケアマネジャー同士がつながり、日頃の悩みや課題、実践での工夫などを気軽に共有できる「ケアマネ交流会」。今年度は初の試みで今治会場と南予会場の2か所で開催しました。両会場とも和やかな雰囲気で活発な意見交換が行われ、参加者からは「このような交流の場を継続してほしい」と大変好評をいただきました！

ケアマネ交流会 in 今治

- 開催場所：済生会今治第二病院
- 参加人数：6名
- 担当者コメント：初の試みで私だけ緊張していましたが、時間を超えてまで、話が尽きませんでした。ご参加ありがとうございます。



居宅介護支援事業所 福ろう 原周作 氏

ケアマネの交流会等には、初めての参加になりましたが地域にこんなに味方がいるのを心強く思えた時間でした。また市外のケアマネさんもいらっしゃり、市が違えど、課題は共通していることを知り、ますます学びが必要だと考えさせられました。ケアマネの減少や高齢化と課題は山積みです。課題解決に向けてこれからも自身の市だけでなく、県レベルで交流を重ねて行けたらと思います。

居宅介護支援事業所 ラング 岸田晃和 氏

地域のケアマネジャーとの繋がりができたことは、とても良かったです。普段、自分一人で抱え込んでいた利用者さんの課題や、日々の業務で感じる悩みについて、ざっくばらんに話すことができたのは、とても貴重な経験です。こういった人とのつながりを大切にし、お互いに支え合いながら、より良いケアを提供できるよう努めていきたいです。

ケアマネ交流会 in 南予

- 開催場所：愛南町内海公民館 DE あい21
- 参加人数：15名
- 担当者コメント：南予交流会、参加者様の皆様と有意義な時間を楽しく過ごせました。2名の方より感想も頂きました。



地域包括支援センター 濱名由佳 氏

愛南町での交流会開催でしたが、普段から顔を合わせているケアマネジャーだけでなく、他の地域のケアマネジャーとも交流できました。課題は共通しており、共感できることがたくさんありました。研修会とは違い、和気あいあいとした雰囲気の中、気兼ねなく話ができる素敵な時間をすごすことができて良かったです。

南宇和郡医師会居宅介護支援事業所 武久志乃氏

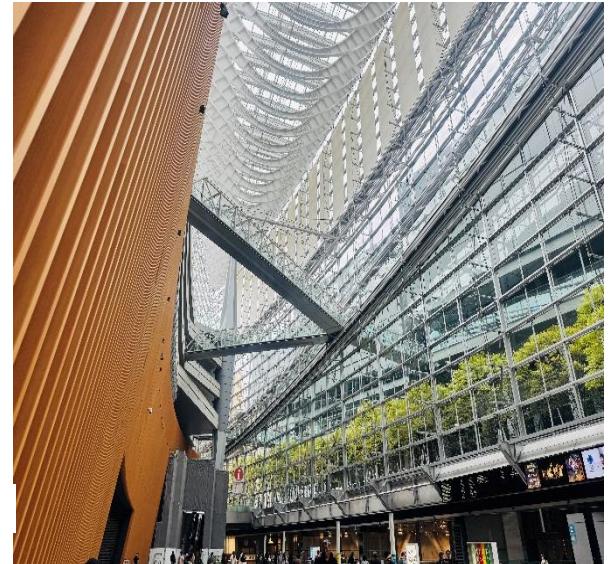
交流会に参加し、抱えている課題や悩みは同じなんだなと思うと同時に困った時にどのように対応しているかなどの体験談を聞き参考になりました。愛媛県介護支援専門員協会の歴史や活動状況についてお話がありましたが、私たちケアマネジャーが働きやすい環境を作っていくためにも協会の活動を知り、参加していくことが大切だと感じました。ChatGPT を使った AI 活用のお話もあり、業務の効率化に向けた取り組みなど、アンテナを張っていかなければならぬなど刺激を受けました。ありがとうございました。



ちょっと一息

11月1日・2日に東京国際フォーラムで開催された日本介護支援専門員協会全国大会に行ってきました。20周年記念全国大会だったそうです。第3分科会の「業務効率化とケアマネジメント」に参加していますが半数の発表者がAIについての発表で生成AIがここまで来たかと実感させられました。

帰りに東京駅近くのオープンテラスで皆さんにおいしそうにマロンケーキを食べていたので、自分も・・・と中に入って値段を見て即座に開けたドアが閉まる前にそのまま外へ出でていきました。晩御飯は上野の丸井「マトリョーシカ」でロシア料理を食べました。つぼ焼きおいしかったです。写真は東京国際フォーラムの写真です。



掲示板

くるにゃん通信に投稿を希望される方は県協会のメールでご相談ください。

なお、掲載の是非については県協会で審査し、可否を決定させていただきますのでご理解ください。

調査研究委員会からのお知らせ

調査研究委員会では、調査やアンケートで得られた結果を分析し、専門職同士の共有や研修の場で活用できる資料としてまとめています。これらの情報は、行政との協議や事業所からの相談支援に役立つだけでなく、会員の皆様ご自身が、事業所内での検討や行政との会議において根拠資料として活用いただける内容となっています。

より実態に即した情報提供のため、今後もアンケートへの積極的なご協力をお願い申し上げます。

発行元

一般社団法人
愛媛県介護支援専門員協会
〒791-0244
愛媛県松山市水泥町90-1
愛媛県介護支援専門員協会事務局
Mail
ecma20150418@gmail.com

編集後記

今号も盛りだくさんの内容となりました。四国ブロック大会の大舞台から、交流会でのホットとするエピソードまで、ケアマネの皆さんの“真剣さとおもしろさ”がギュッと詰まっていました。

取材の途中、「ペットのお世話に1時間、娘のお世話は時々忘れる」という告白も飛び出し、編集担当としては笑っていいのか悩みつつ…結果しっかり笑いました。

それでは次号でまたお会いしましょう。皆さん、どうかお体とユーモアはお忘れなく！(中矢)